

釜石セブンズ試合結果

1. 日時 4 月 26 日 (日) 9 : 00 ~

2. 場所 釜石市球技場

3. 出場選手

チーム名：釜石シーウェイブス RFC



背番号	選手氏名	フリガナ	年齢	身長	体重	勤務先・所属先	出身校・出身地
1	高橋 拓也	タカハシ タクヤ	23歳	172cm	94kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	黒沢尻工高
2	樋澤 泰二	ヒザワ タイジ	25歳	171cm	90kg	釜石シーウェイブス RFC	東洋大
3	ダラス・タタナ	Dallas Tatana	23歳	186cm	106kg	盛岡ターミナルビル(株)	東海大
4	千布 亮輔	チフ リョウスケ	26歳	182cm	103kg	NSテックスエンジ釜石(株)	明治大
5	タウファ タフィアイハハ	タウファ タフィアイハハ	33歳	183cm	100kg	釜石シーウェイブス RFC	日本大
6	須田 康夫	スダ ヤスオ	31歳	183cm	100kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	専修大
7	マイケル・バー・トロケ	Michael Vaa Toloke	24歳	182cm	100kg	釜石シーウェイブス RFC	日本大
9	原田 航路	ハラダ タカミチ	28歳	168cm	74kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	大分舞鶴高
10	井上 益基也	イノウエ ミキヤ	28歳	173cm	73kg	日鉄住金物流釜石(株)	明治大
11	ジェームス・カマナ	James Kamana	29歳	180cm	92kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	フォレストビュー高
12	片岡 将	カタオカ ショウ	27歳	174cm	80kg	NSテックスエンジ釜石(株)	関西学院大

チーム名：岩手県選抜(オール岩手)



背番号	選手氏名	フリガナ	年齢	身長	体重	勤務先・所属先	出身校・出身地
1	佐々木 陽丞	ササキ ヨウスケ	24歳	182cm	92kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	秋田工高
2	三浦 太一	ミウラ タイチ	23歳	175cm	70kg	宮古消防	東海大
3	佐藤 雄太	サトウ ユウタ	24歳	185cm	88kg	釜石シーウェイブス RFC	金足農高
4	細川 諭	ホソカワ サトシ	27歳	168cm	70kg	ALSOK岩手(株)	関東学院大
5	合澤 英旦	アイザワ ヒデアキ	20歳	166cm	77kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	釜石商工高
6	早川 永祐	ハヤカワ エイスケ	22歳	173cm	80kg	奥州市役所	黒沢尻工高
7	菅野 朋幸	カンノ トモユキ	30歳	178cm	74kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	早稲田大
8	小野 航大	オノ コウダイ	23歳	167cm	82kg	釜石シーウェイブス RFC	東海大
9	千葉 大和	チバ ヤマト	28歳	165cm	72kg	(株)寿広	一関工高
10	佐々木 拓磨	ササキ タクマ	29歳	173cm	80kg	奥州市立梁川小学校	山形大
11	菅原 祐輝	スガハラ ユウキ	20歳	169cm	73kg	新日鐵住金(株)釜石製鐵所	仙台育英高

4. 試合結果

別紙参照

5. 試合内容

今年で 3 回目を迎え、すっかり春の恒例となった FP ホームサービス杯釜石セブンズ。足早に通り過ぎた桜の代わりに中学生ラグールがオープニングゲームで花を添えます。

女子は青森・秋田・岩手・宮城から、男子は釜石 SW・オール岩手・秋田 NB・船岡自衛隊・筑波大・関東学院大が顔を揃え、グラウンドはセブンズらしいお祭りムード一色。華麗なパス回しと鋭いランでスタンドを沸かせました。しかし春らしい穏やかな天候とは裏腹、波乱含みの展開をみせます。予選プール A、大会 3 連覇を狙う釜石 SW は初戦の船岡自衛隊に勝利するも、2 戦目の関東学院大に敗れ 3 位(プレート)決定戦へ。SW メンバーも加わったオール岩手はプール B で秋田 NB、筑波大学に連敗し 5 位(ボール)決定戦へまわることになります。

5 位決定戦ではオール岩手が船岡自衛隊と対戦。組織力で上回る船岡自衛隊が序盤でリードを広げ、スピードを武器にオール岩手も追い上げますが反撃及ばず。残念ながら 19-29 で敗れました。一方、3 位決定戦にまわった釜石 SW。大会 3 連覇は逃したものの最後の意地を見せようと秋田 NB に襲い掛かります。息もつかせぬ速攻から新戦力のマイケルが先制トライ。その後も、同じく新戦力のダラスがトライを決め一気に突き放すかに思いましたが秋田 NB も食い下がりと

ライを返します。それでも釜石 SW は後半に入ってもゲーム内容・得点共にリードを許さず、結果 29-21 で勝利しました。

そして筑波大対関東学院大となった決勝戦は、学生らしいスピーディーなゲームとなりました。先制したのは筑波大。テンポの良い横への球まわしから、キレのある縦へのランでトライを奪います。筑波大の勢いは止まらず連続トライでゲームを支配。対する関東学院大も素早い展開から反撃をみせます。しかしながら多彩なオプションからトライを量産した筑波大が 39-21 で関東学院大を下し優勝カップを手に入れました。

大会も無事に終了。ご参加いただきました各チームの皆様お疲れ様でした。またのお越しをお待ちしております。そしてご観戦いただき応援してくださった皆様、本当にありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。



6. 藤原 SW セブンズ監督からのコメント

いつも応援ありがとうございます。

優勝を目指して選手たちは頑張ってくれましたが私の力不足で最高の結果は得られませんでしたが、ただ完敗した関東学院大戦の後、気持ちをリセットし秋田 NB 戦で勝利を掴んだメンタルタフネスは非常に評価出来る点と考えます。これからは主に 15 人制での強化へと移りますが、セブンズで得た課題を克服し、IBC 杯でよい結果を残したいと思います。

これからも釜石 SW を宜しくお願い致します。

7. 細川進オール岩手監督からのコメント

いつも多大なるご支援ありがとうございます。

岩手県選抜チームは最下位という結果に終わってしまいましたが、怪我人が多くベストなメンバーを組めない中でも随所に光るプレーを見せてくれました。特に 2 年目の菅原祐輝選手は、素晴らしいプレーでグラウンドを沸かせてくれました。北上ブレイズラグビーの選手達も生き生きとプレーし今後の岩手県ラグビーの発展を感じさせてくれました。国体優勝を目標に今後も精進して行きますので、応援よろしく願いします。

8. 試合のお知らせ

練習試合

5 月 4 日(祝・月) 釜石市球技場

K.O. 11:00 vs 秋田ノーザンブレッツ RFC

vs 船岡自衛隊

ご声援の程宜しく願いいたします。

以上